

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その1）

河川名	なかがわ 那賀川	事業名	広域河川改修事業	事業区間	鷺敷町和食郷～鷺敷町北地	
再評価の実施理由		再評価実施後5年が経過しており、事業の必要性・効率性を再度評価する。				
未着工或いは事業が長期間要している理由			事業には着手しているが、一連区間を改修する事業計画規模であり、長期の事業期間を必要とするため。			
事業内容	事業目的	河積の拡大及び浸水防止施設の整備により洪水被害の解消を図る。				
	事業実施内容	全体計画延長L=2,300m 築堤 68,448m ² 、掘削 44,455m ³ 、護岸 3,655m、道路橋 2橋、浸水防止施設1式				
	目標流量(将来)	8,500 m ³ /s	計画流量(本事業)		8,200 m ³ /s	
事業の進捗状況	事業採択年	(変更) H19	工事着手年	S48	完成目標年	H32
	全体事業費 (内用地費)	11.6 億円 4.8 億円	投資事業費 (内用地費)	1.9 億円 (進捗率 16%) 1.4 億円 (進捗率 29%)		
	事業進捗状況	下流の河道掘削、左岸無堤地区の解消が完了している。右岸は、中山川、北地川の支川処理及び支川付近と蛭子神社前護岸を除き概成している。				
	一連の整備効果の発現状況	河道掘削により河道の流下能力が向上している。左岸無堤地区の解消により道の駅などの開発が進んでいる。				
事業を巡る社会的な関係者の状況の変化	現状での課題	中山川、北地川の支川処理が未完成のため、那賀川の洪水が逆流する恐れがある。				
	事業目的に関する状況	災害発生時の影響（想定氾濫区域内）				
	事業目的に関する状況	①浸水戸数：147戸（H19河道） ②浸水面積：51 ha（H19河道） ③重要な公共施設等：鷺敷小学校、那賀警察署、農業集落排水処理施設 ④災害弱者関連施設等：				
	事業目的に関する状況	過去の災害実績				
	事業目的に関する状況	①被災頻度： S25.9月洪水（ジェーン台風） 全壊129棟、半壊537棟、床上浸水1,564棟、床下浸水3,825棟 S46.8月洪水 家屋の流失1棟、床上浸水92棟、床下浸水86棟、浸水面積95ha H16.10月洪水 床上浸水40棟、床下浸水14棟、浸水面積35ha ②最大浸水戸数：5,389棟(S25.9) ③最大浸水面積：95ha(S46.8)				
	事業目的に関する状況	災害発生の危険度				
事業目的に関する状況	①改修目標流量に対する現況流下能力の割合：40% ②現況の治水安全度：1/3.5					

